



▲たくさんの商品が並んだ
軽トラ市

多気の元気が駅前に集合



YouTube で動画が見れます！



Sunday

5/13

元気玉まつり&よって見んしゃい！軽トラ市多気



▲元気いっぱい！保育園児の発表会の様子

多気駅前の賑わいづくりを目的に「第7回元気玉まつり」（主催：筋原商工連盟・多気市おいでんさいカード店会・ハピたくらぶ）が、あいぱれっとで開催されました。

多気東部太鼓保存会の力強い「迎え太鼓」でスタートし、市内保育園児の発表会や音楽、参加型イベントなどが催されました。おいでんさいカード店会の抽選会には豪華商品をゲットしようとする参加者が列をつくっていました。また、同時開催の軽トラ市では30店が出店。あいにくの雨でしたが、岸川まんじゅうをバンズにした「ハピタクバーガー」など、地元の食材を使ったご当地グルメやアクセサリなどお目当ての商品を求め、約1,800人の来場者で大いに賑わいました。

Monday

5/14

春の叙勲おめでとうございます

旭日単光章の勲章▶

村山 ミヨ子さん 旭日単光章を受章

長年にわたり一般財団法人 佐賀県母子寡婦福祉連合会の副理事長を務め、ひとり親家庭の支援に尽力された、村山ミヨ子さん(北多気町)が旭日単光章を受章され、5月14日横尾市長へ報告に来訪されました。

村山さんは、昭和50年に夫と死別。自身がひとり親家庭になりながらも、昭和51年から平成7年まで、ひとり親家庭の相談員として地域の民生委員や行政と連携し、親身になって問題解決に取り組んでこられました。平成8年からは、多気市母子寡婦福祉連合会の会長を務め、また、平成12年5月から平成20年4月まで、佐賀県母子寡婦福祉連合会の副理事長を4期にわたり務められました。村山さんは「自分と同じひとり親家庭の助けになればと思います」と話されました。



▲「厳かな雰囲気の中での授章式は緊張したが同時に感動しました」と話す
村山さん



▲触れる彫刻作品を楽しむ
子どもたち

ジャンルを超えたアートの祭典！

多気市アートフェス 2018

Sunday

5/20

Sunday

5/27



▲趣きのある和の空間が演出された展示コーナー

今年で3度目となる「多気市アートフェス2018」（主催：エノグアートプロジェクト実行委員会）が、あいぱれっとで開催され、市内外の作家67人による約150点の作品が展示されました。

代表の甲斐藍子さんは「回を重ね、出展者も増えてきました。分野の垣根や敷居もなしで、いろいろな作家さんの作品が同じ空間で楽しめます。“アートの森”を散策してもらいたいです」と話されました。畠永ボンドさんは「たくさんの人が集まる場所で展示することで、アートや作品を身近に感じるきっかけになると嬉しい」と話され、会場は連日多くの来場者で賑わいました。